横須賀市健康増進計画・
食育推進計画専門部会　資料２
平成30年(2018年) ８月２日（木）

横須賀市健康増進計画･食育推進計画進行管理表　平成29年度

取り組みの分野:がん

１） ２） ３） ４） ５）	がんと生活習慣病予防との関係性の周知（●） がん検診の必要性の周知（●） がん予防啓発のための講座等の実施（●） 胸部、大腸、子宮、乳がん、前立腺がん検診の受診者数を増やす取り組み（●） 胃がんリスク検診要精検受診率の向上（●）

番号	事業名	事業内容	担当課
① ② ③ ④ ⑤	市民健診事業 特定健康診査事業 健康教育事業	・広報等での啓発や市民健診結果説明会の有効活用 ・健康教室の実施 ・講演会の実施 ・ポスター作成やパンフレットの配布 ・精密検査未受診者へのアンケート調査 ・精密検査受診者へのパンフレットの配布（集団検診）	保健所 健康づくり課

29年度計画	・「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン」のポスターを作成（10月予定）し、市の掲示板などに掲示する。 ・市民健診の講演会を開催する。 ・胃がんリスク、乳がん、子宮頸がん、大腸がん、胸部検診の精密検査未受診者へのアンケート調査を実施する。 ・40歳女性に乳がん検診、20歳女性に子宮頸がん検診の無料クーポン券を配布する。 ・40歳男性にがん検診の受診勧奨を行う。 ・20歳女性及び40歳男女に、がん検診受診の再勧奨を行う（11月予定）。 ・平成24年度胃がんリスク検診A判定者に、検診受診勧奨のはがきを送付する。 ・集団健診の胃がんリスク検診受診者に、胃がん発生リスクに関するちらしを結果通知に同封する。 ・ホームページ・すかりぶに市民健診の案内を載せる。
実績と評価	・「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン」のポスターを作成し、医療機関・コミュニティセンター・行政センター・老人福祉センター等に10月に約400枚掲示した。 ・10月21日（土）に胃がんリスク検診市民講演会を開催し、39名の参加があった。 ・胃がんリスク・乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診の精密検査未受診者へ、受診勧奨とともに未受診理由の調査を実施した。 ・40歳女性2,585人に乳がん、20歳女性1,896人に子宮頸がん検診の無料クーポン券を配布した。 ・40歳男性2,801人にがん検診の受診勧奨を行った。 ・20歳女性及び40歳男女7,228人に、がん検診受診の再勧奨を行った。 ・平成24年度胃がんリスク検診A判定者10,847人に検診受診勧奨のはがきを送付した。 ・集団健診の胃がんリスク検診受診者に、胃がん発生リスクに関するちらしを結果通知に同封した。 ・ホームページ・すかりぶに市民健診の案内を載せた。 ・9月2日、3日に開催した「健康フェア」にて、乳がんの自己検診の啓発を行った。（参加者H28年142人、H29年度209人）

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

取り組みの分野：循環器疾患・糖尿病

１） ２） ３） ４） ５）	健康診断を受けやすい環境の整備（●） 健康診断の必要性の周知（●） 必要に応じた健康診断後のフォローの実施（●） 生活習慣病（脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧、脂質異常症、糖尿病）、メタボリックシンドローム予防に関する知識の普及（●） 生活習慣病予防と改善のための食事や運動の講座等の実施（●）

番号	事業名	事業内容	担当課
① ③ ⑤ ⑦ ⑧	市民健診事業 特定健康診査事業 （国保・社保） 健康づくり推進事業 健康教育事業	・各健康診査の実施 ・市のホームページ等に医療機関情報（日曜診療等）掲載 ・集団健診の休日健診の開催回数の増加 ・広報よこすかに啓発記事の掲載 ・地域からの依頼による健康教育等の実施 ・イベントでの広報活動 ・生活保護等の特定保健指導の実施 ・市民健診結果説明会の有効活用 ・各種健康教室の実施 ・地域や職域からの依頼による健康教育の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施 ・各種健康教室の実施 ・地域や職域からの依頼による健康教育の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施	保健所 健康づくり課

29年度計画	・集団健診は5月～翌年の３月15日まで実施する。個別健診は5月～翌年2月まで実施する。 ・日曜日に健診を実施している医療機関をホームページに掲載する。 ・集団健診の休日健診を日曜日に7回・土曜日に3回実施する。 ・広報よこすかに市民健診の案内記事を月一回掲載する。 ・集団健診の結果説明会を年23回開催する。 ・国保の特定保健指導（動機付け・積極的）の対象者（希望者）に特定保健指導を実施する。 ・慢性腎臓病（CKD）や透析に至ることを防ぐため、検診実施医療機関を通じて、糖尿病や高血圧の治療には至っていない生活習慣病予備軍の者に対して、CKDのパンフレットを配布する。 ・引き続き、スマートダイエット教室、病態別栄養教室、健康相談を実施。 ・機会をとらえて、階段利用促進のポスターの周知を図る。
実績と評価	・集団健診は5月～翌年の３月15日まで実施した。 ・集団健診の休日健診を日曜日に7回・土曜日に3回実施した。 ・広報よこすかに市民健診の案内記事を月一回掲載した。 ・集団健診の結果説明会を年23回開催した。 ・特定保健指導を年36回128人（動機付け24回109人、積極的12回19人）実施した。 ・検診実施医療機関167機関を通じて、生活習慣病予備軍の者に対して、CKDのパンフレット3,340部を配布した。 ・健康教育事業のうち、スマートダイエット教室は昼間と夜間の2コース実施した。教室参加者は、体重平均6.25kg減少し、血圧、中性脂肪等の値も改善した。（H28年度講演会93名、教室32名、H29年度は133名、40名） ・健康相談事業を実施した（相談者214人）。 ・生活習慣病予防のための講話と調理実習を実施した(4回延べ57人）。 ・ヘルスメイトよこすか主催で、生活習慣病予防の調理実習と軽い運動を行った（３回39人）。 ・階段利用促進のポスターは各所に継続して掲示してもらっている。

※　●：健康増進計画　　■：食育推進計画

1） 2） 3）	健康診断を受けやすい環境の整備（●） 健康診断の必要性の周知（●） 必要に応じた健康診断後のフォローの実施（●）

番号	事業名	事業内容	担当課
② ④ ⑥	特定健康診査事業 （国保） 特定保健指導事業 （国保）	・40歳から74歳までの国保被保険者に対する特定健康診査の実施 ・内臓脂肪型肥満に着目した検査項目での健診を、保健所健診センター及び医療機関に委託し実施 ・40歳から74歳までの国保被保険者に対する特定保健指導の実施 ・毎年5月に受診券を送付 広報紙、ホームページ等で周知 ・対象者へ受診券を発行し、特定保健指導を医療機関に委託し実施	健康保険課

29年度計画	・受診勧奨通知の内容等の改善（個人属性や受診動向等の分析による文面の工夫） ・早期受診促進キャンペーン ・はがき・電話・訪問による受診勧奨 ・健診案内の改善（UCDA認証） ・人間ドックにかかる費用の一部助成　助成上限額1万円 ・勤務先での健康診断結果提出で記念品を贈呈 ・生活習慣病発症予測通知（生活習慣病の発症リスクを数値化した通知）の送付 ・はがき・電話・訪問による利用勧奨 ・39歳になる被保険者を対象にした郵送型簡易検査の実施 ・特定健康診査・レセプトデータの解析に基づいて策定したデータヘルス計画の推進と次期データヘルス計画の策定
実績と評価	・受診勧奨通知の内容変更：受診動向等を分析し対象者ごとに文面を改善して発送 ・早期受診促進キャンペーン：平成29年5～8月実施 ・はがき・電話による特定健康診査受診勧奨：はがき 49,682通 / 電話 1,111件 ・健診案内の一部改善 ・人間ドック費用の一部助成：430件 ・勤務先での健康診断結果提出で記念品贈呈：53件 ・生活習慣病発症予測通知の送付：483件 ・はがき・電話による特定保健指導利用勧奨：はがき　1,697 件/ 電話 1,754件 ・39歳になる被保険者を対象にした郵送型簡易検査：124人に実施 ・ハイリスク者への保健指導：血圧・血糖・脂質・腎機能のハイリスク者について医療機関への受診勧奨を実施 ・糖尿病性腎症重症化予防事業：CKDステージ３ｂ期 12人に実施 ・特定健康診査･レセプトデータの解析に基づいて策定した第1期データヘルス計画の推進：実施 ・第２期データヘルス計画の策定：実施

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

取り組みの分野：健康づくりを目的としたネットワーク

（1）健康づくりの発信源としてのボランティアの育成
（2）地域健康づくりネットワークへの取り組み

(1)-1) (1)-3) (2)-1) (2)-2) (2)-3) (2)-5)	食生活改善推進員を増やす取り組み（●■） ラジオ体操を指導できる人を増やす取り組み（●） 地域健康教育、講座の実施（●■） 健康づくりグループの育成（●■） 食生活改善推進員の活動の周知（●■） 地域職域との連携を図る（ラジオ体操の推進、食事バランスの啓発、禁煙対策、適量飲酒、こころの健康など）（●■）

番号	事業名	事業内容	担当課
① ③ ⑦ ⑨ ⑩ ⑫	健康づくり推進事業 健康教育事業	・健康づくりリーダーの育成 ・ラジオ体操指導者研修会等の開催 ・地域からの依頼による健康教育の実施 ・ホームページへの掲載やチラシの配布等による周知 ・職域からの依頼による健康教育の実施	保健所 健康づくり課

29年度計画	・ヘルスメイト養成講座は、周知方法を工夫し、講座内容について28年度の受講生のアンケートや講師らの意見を参考にさらに内容を見直し実施する。 ・ラジオ体操サポーター養成講座、サポーターフォローアップ研修を引き続き実施する。 ・地域イベント型ラジオ体操講座については、地域のイベントに組み込んだ30分程度のラジオ体操ワンポイントレッスンを４回、各地域が主体となり、企画・運営するラジオ体操イベントに講師を派遣する形を４回開催予定。 ・観光イベントでのラジオ体操ワンポイントレッスン、グループ登録、活動発表会等は継続して実施する。 ・平成29年度から、ラジオ体操活動グループで継続的にラジオ体操を継続している人に、継続のモチベーションを維持するために、ラジオ体操実施回数に応じた賞状（精勤賞）の交付を行うことを検討中。
実績と評価	・ヘルスメイト養成講座の周知方法は市内関係部署での配架依頼、チラシの配布を行った。ヘルスメイト養成講座は定員を超える22名の応募があった。21名が養成講座を修了した。そのうち、15名が今年度新会員の登録を行った（会員数は3月末で58人）。 ・市民向けラジオ体操サポーター養成講座を3回、スポーツ推進委員向けを1回、市職員向けを1回実施した。サポーター数は平成29年度末現在で766人、市職員のサポーター数は351人となった。 ・ラジオ体操サポーターのフォローアップ研修を２回開催した（参加者第1回38人、第2回60人）。 ・坂本・馬堀・かもめ団地・浦賀・長浦・岩戸・武の７か所で、地域イベント型ラジオ体操講座を開催し、参加者は合計1,570人であった。(H28年度3,511人/4回) ・カレーフェスティバル、産業まつりでは、観光イベント型ラジオ体操講座を開催し、それぞれ300人、250人の参加者があった。 ・ラジオ体操活動グループの登録は、平成29年度末で78か所となった。新規登録数は6か所（前年度12か所） ・ラジオ体操グループの活動についての情報交換と、今後の活動へのモチベーションを高めることを目的として、活動発表会を開催した。 ・平成29年10月から、ラジオ体操活動グループで継続的にラジオ体操を行っている人に、モチベーションを維持するため、精勤賞の制度を開始した。

※ ●:健康増進計画　■:食育推進計画

(1)-2) (2)-1)	介護予防サポーターの活用（●） 地域健康教育、講座の実施（●■）

番号	事業名	事業内容	担当課
② ⑧	地域介護予防活動支援事業	・介護予防サポーターのフォローアップ ・地域からの依頼による介護予防に関する講座の実施 ・地域包括支援センターによる介護予防に関する講座の実施	**高齢福祉課**
29年度計画	（地域）地域の底力アップ教室　18回　540人 （地域）地域型介護予防教室　290回　延5,800人 （地域）ふれあい地域健康教室　35回　延1,000人 （地域）介護予防サポーター養成講座　２コース　延420人（１コース　70人） 介護予防サポーターフォローアップ研修　約500人 地域型介護予防サポーター養成講座　２コース　延240人（１コース40人）		
実績と評価	（地域）地域の底力アップ教室　10回　411人 （地域）地域型介護予防教室　255回　延4,977人 （地域）ふれあい地域健康教室　39回　延1,095人 （地域）介護予防サポーター養成講座　6回　延143人 介護予防サポーターフォローアップ研修　5回　約336人 地域型介護予防サポーター養成講座　6回　延148人 ＊地域の底力アップ教室は、年間実施回数が18回以下で実施するものである。実施できる包括が増えてきており、29年度は10回実施することができた。 ＊地域型介護予防サポーター養成講座は、2コースを無事に実施する事が出来た。次年度に向けてコース数を増やしていきたい。		

(2)-1)	地域健康教育、講座の実施（●■）		
番号	事業名	事業内容	担当課
④	周産期支援事業 母子健康教育指導事業	・妊娠期から子育て期の各種教室の実施 ・地域からの依頼による健康教育の実施	**こども健康課**
29年度計画	引き続き、妊婦や母親同士の情報交換や交流、相談の機会を提供し、地域での仲間づくりの機会とし、子育ての孤立化を防ぎ、前向きに子育てに取り組めるようにしていく。		
実績と評価	・プレママプレパパ教室32回（平日14回、土日16回、夜2回）、妊産婦サロン44回、出張型妊産婦サロン20回、対象別サロン（高齢妊産婦対象）11回、育はぐ教室（6～10か月の親子を対象）64回の実施の中で、妊産婦、母親同士の交流を図り、仲間づくりの機会とした。 ・地域依頼の健康教育を280回実施した。		

(2)-1)	地域健康教育、講座の実施（●■）		
番号	事業名	事業内容	担当課
⑤	コミュニティセンター運営管理事業	・コミュニティセンターにおける各種講座の実施	地域コミュニティ支援課 各行政センター
29年度計画	生涯現役という観点から高齢者教室の内容を充実させる。引き続き高齢福祉課の介護予防事業と連携し、生涯現役講座を9コミュニティセンターで開催する。 家庭教育学級においても引き続き内容の充実と参加者増加に努める。		
実績と評価	各コミュニティセンターの高齢者学級と高齢福祉課の介護予防事業を連携させ、生涯現役講座として９コミュニティセンターで実施した。 その他、一般向けにも心身の健康増進を目的とした講座を実施した。家庭教育学級では、親子などを対象とした講座を実施し、多数の参加があった。 各講座等の参加者アンケートにおいては、また参加したいという声や、内容に満足いただいている声が多く届くなど高い評価を得ており、地域の健康増進の一助となっていると考えられる。		

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

(2)-1)	地域健康教育、講座の実施（●■）		
番号	事業名	事業内容	担当課

⑥	生涯学習センター運営管理事業	・各種講座、市民大学の開催	**生涯学習課**
29年度計画	・生涯学習センター指定管理事業において、市民大学（50講座以上）を含む各種講座を実施する。 ・市民大学などにおいて、健康に関する講座を実施する。		
実績と評価	・市民大学を年間60講座実施した。 ・学習成果地域活用事業の一環で、Yokosukaまなび情報登録講師のデビュー講座10講座を実施した。 ・身体の健康に関する講座は、市民大学において「ヨガの道しるべ」、「東洋医学で考える健康と病気について」、「『口から食べる』を続けるためのいろは」、「気になるアンチエイジング術で楽しく美活」を実施。また、講師デビュー講座において「毎日のおうちごはんで健康に」、「これなら出来そう体幹ＵＰピラティス体験」を実施した。		

(2)-4)	スポーツ推進委員の活用（●）		
番号	事業名	事業内容	担当課
⑪	新体力テスト測定員養成事業	・新体力テスト測定員講習会の実施 ・学校へのスポーツ推進委員の派遣 ・スポーツフェスタの開催	**スポーツ振興課**
29年度計画	＜新体力テスト測定員講習会の実施＞ ・平成30年2月17日（土）に新体力テスト測定員講習会を開催する予定。 ＜学校へのスポーツ推進委員の派遣＞ ・前年度の実施内容を改善し、新体力テスト測定員を学校へ派遣する。その後、派遣結果をもとにさらなる反省点・今後の課題を洗い出し、それを踏まえて測定員研修を開催し、次年度以降の事業の拡充につなげる。 ＜スポーツフェスタの開催＞ ・平成29年10月9日（月・祝）によこすかスポーツフェスタ2017を開催し、北体育会館・横須賀アリーナにおいて、スポーツ推進委員が役員となって新体力テストの測定を行う予定。		
実績と評価	＜新体力テスト測定員講習会の実施＞ ・平成30年2月17日（土）に諏訪小学校で新体力テスト測定員講習会を開催し、22名が参加した。 ＜学校へのスポーツ推進委員の派遣＞ ・22の小学校にスポーツ推進委員を延べ110名派遣した。 ＜スポーツフェスタの開催＞ ・平成29年10月9日（月・祝）によこすかスポーツフェスタ2017を予定通り実施した。		

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

取り組みの分野:食育

1） 2） 4） 8） 9）	健康づくり教室や食育教室の実施（■） １人で食事をするこどもを減らす取り組み（■） 食育に関する情報の提供（■） よく噛んで味わって食べるなどの食べ方の啓発（■） 農業体験を経験する機会の提供（■）

番号	事業名	事業内容	担当課
① ⑤ ⑧ ⑯ ⑳	食育活動 食指導 園内菜園	・食育パフォーマンスの実施 ・食事のおたよりの配布 ・毎日の給食時に保育士等による食指導および共食 ・依頼による食育講話の実施 ・園内菜園の実施	**保育運営課**

29年度計画	28年と同様 ・食育パフォーマンスの実施　　・食事のおたよりの配布 ・毎日の給食時に保育士等による食指導および共食　　・依頼による食育講話の実施 ・園内菜園の実施・ヘルスメイトによる和食文化「はしについて」講話と実演
実績と評価	・園児を対象とした食育パフォーマンスの実施　10園 ・食事のおたよりの配布　認可、認可外保育施設67施設へ毎月送付 ・毎日の給食時に保育士等による食指導および共食　毎食実施、園独自の食育活動 ・依頼による食育講話の実施　保護者にむけての食育講話　３園 ・園内菜園の実施し給食で取り入れる ・ヘルスメイトによる和食文化「はしについて」講話と実演　４園 ・日本中国料理協会湘南支部による幼児のクッキング講座「中国の食文化にふれよう～餃子～」２園

1） 2） 4） 8）	健康づくり教室や食育教室の実施（■） １人で食事をするこどもを減らす取り組み（■） 食育に関する情報の提供（■） よく噛んで味わって食べるなどの食べ方の啓発（■）

番号	事業名	事業内容	担当課
② ⑥ ⑨ ⑰	周産期支援事業 母子健康教育指導事業 訪問指導 母子健康診査事業	・妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問、教室の実施 ・地域からの依頼による健康教育の実施	**こども健康課**

29年度計画	・引き続き各種事業において共食の重要性、妊娠期から乳幼児期に必要な食の情報提供、よく噛んで食べる食べ方等について普及啓発を行う。また、ホームページやすかりぶを活用して母子保健に関する食の情報提供していく。
実績と評価	・乳幼児健診や各種事業において、共食の重要性、妊娠期から乳幼児期に必要な食の情報提供、よく噛んで食べる食べ方等について普及啓発を行った。 ・手軽に食事づくりが出来るようにするため、幼児期のレシピをすかりぶに掲載した。 ・市のホームページ（よこすかムービーチャンネル）に引き続き離乳食の作り方を動画で情報発信した。

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

1） 3） 4） 7） 8）	健康づくり教室や食育教室の実施（■） 栄養成分表示の活用方法の普及（■） 食育に関する情報の提供（■） よこすかＥ表示協力店、情報発信店を増やす取り組み（■） よく噛んで味わって食べるなどの食べ方の啓発（■）

番号	事業名	事業内容	担当課

③ ⑦ ⑪ ⑮ ⑱	健康づくり推進事業 健康食生活推進事業 健康教育事業	・食育推進教室の実施 ・地域、職域からの依頼による健康教育の実施 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施 ・食品衛生協会主催の講習会および、巡回での説明の実施 ・外食の栄養成分表示を上手に活用するための教室の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発	保健所 健康づくり課
29年度計画	・食文化への理解をすすめるための食育推進講習会の実施 ・各世代に対するかんたんメニュー教室、メンズ料理、バランスのよい食事をつくる教室の実施 ・食育に関する情報提供のためのキャンペーン ・飲食店における栄養成分表示をすすめるための講習会などの実施 ・栄養成分表示を上手に活用するための教室の実施 「よこすかＥ表示」メニュー設置店の展開実施 「よこすかＥ表示」普及協力店へ引き続き掲示協力依頼 ・ポスター・ちらし・市ホームページなどを利用した普及啓発 ・ヘルスメイトによる食べることの大切さを伝える委託事業の実施 ・ヘルスメイトによる食文化への理解をすすめるための講話実演 ・地域、職域からの依頼による健康教育の実施		
実績と評価	・食文化への理解をすすめるための食育推進講演会について、平成28年度は2回開催(計99名参加)のところ平成29年度は著名な講師を招き１回の開催とし、申込み108名中87名の参加があった。 ・食文化の継承をテーマとした郷土料理を新たに加え、各世代に対する様々な料理教室の実施し、今年度は計20名参加者が増加した。(6回　79人) ・食育推進キャンペーンは今年度４回目を迎えた。年々参加人数が増加し、初めて延べ1000人を超えることが出来た。(1回　1063名) ・栄養成分表示を上手に活用するための教室の内容を見直し、ポスター・チラシを関係部署で配架したところ、参加者が11名増加した。(1回　46名) ・「よこすかＥ表示」普及協力店へ引き続き掲示による市民への周知協力依頼。 ・「よこすかＥ表示」メニュー設置店の店舗専用ポスター作成及び市民への周知協力依頼。(12店舗登録) ・ヘルスメイトによる各テーマごとの調理実習を中心とした教室を実施し、16名増加の計229名が参加した。 ・地域、職域からの依頼による健康教育を実施した。参加人数については前年度とほぼ同様であった。		

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

１） ４） ８）	健康づくり教室や食育教室の実施（■） 食育に関する情報の提供（■） よく噛んで味わって食べるなどの食べ方の啓発（■）		
番号	事業名	事業内容	担当課
④ ⑫ ⑲	地域介護予防活動支援事業 基礎身体能力向上事業 介護予防普及啓発事業	・地域からの依頼による介護予防に関する講座の実施 ・介護予防に関する知識の普及と教室の実施	高齢福祉課

29年度計画	(地域) ふれあい地域健康教室　　35回 (普及) 男性料理教室　１日コース×８会場　定員１５人 １日コース×４会場　定員２０人 (普及) のみこみらくらく教室（栄養・歯科）　３日コース×３会場　　定員１５人 (普及) シニアのための栄養講座　１日コース×6会場　定員20人 シニアのための栄養講座（実践現）1日コース×3会場　定員20人 (普及) 小食の方のための栄養教室　２日コース×３会場　　定員２０人 (普及) 生涯現役講座（コミュニティーセンターと連携）1回×９コミセン **(普及) プラチナカレッジ（複合）2日コース×4コース　定員30人**
実績と評価	(地域) ふれあい地域健康教室　　39回　1,095人 (普及) 男性料理教室　　12回　180人 (普及) のみこみらくらく教室（栄養・歯科）　9回　45人 (普及) シニアのための栄養講座　　6回　97人 シニアのための栄養講座（実践現）　　3回　40人 (普及) 小食の方のための栄養教室　　3回　15人 (普及) 生涯現役講座（コミュニティーセンターと連携）　9回　243人 (普及) プラチナカレッジ（複合）　　8回　97人 ＊申込み人数の少ない教室やリピーターが多い教室については、教室名にキャッチコピーを付けたり実施内容の見直しを行い、参加者の増加や新たな参加者からの申し込みに繋げたい。

4） 5）	食育に関する情報の提供（■） 学校給食での地産地消の推進（■）		
番号	事業名	事業内容	担当課
⑩ ⑬	学校保健関係指導	・夏季研修講座「食育」、食指導研修 ・給食だより等による意識啓発 ・学校給食での地場産物の使用の推進 （統一献立および自校献立）	**保健体育課**
29年度計画	・引き続き食育研修を、夏季研修講座に位置付け、継続して基準献立予定表、給食だより、食育だより等の発行を行っていく。 ・統一献立における地場産物の使用割合を13.2%以上を目指していく。 ・食育の推進体制づくりを支援するため、市立学校食育担当者会議を開催する。 ・給食時間の準備から後片付けまでの活動を通して、担任が計画的・継続的な指導を行うことにより児童に望ましい食習慣と食に関する実践力を身に付けさせるために、「給食時間マニュアル」を市内全小学校で実施する。		
実績と評価	・福岡市立舞鶴中学校　稲益義宏　教諭を講師として招聘し、夏季研修講座（食育）を実施した。（平成29年８月７日　13：30～16：00） ・統一献立における地場産物の使用割合13.2%を超える15.4%の実績結果を得ることができた。 ・市立学校食育担当者会議を２回開催した。（5/17と2/23に実施） ・「給食時間マニュアル」に基づいた給食指導を市内小学校全校で実施し、各学校において学校給食を「生きた教材」として活用できるよう取組を進めた。		

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

6）	食の安全性の普及啓発（■）		
番号	事業名	事業内容	担当課
⑭	食品衛生事業	・食のセミナーおよび食品衛生講習会開催	**保健所 生活衛生課**
29年度計画	・市民向け食品衛生講習会を開催 ・食のセミナーを平成30年２月開催		

実績と評価	・市民向け食品衛生講習会を年間２回開催。 ・食のセミナーを平成30年３月７日（水）に開催（食と魚の生物学） 市民に対し食の安全・安心について啓発することができた。

９）	農業体験を経験する機会の提供（■）		
番号	事業名	事業内容	担当課
㉑	地産地消推進事業	・農業体験の実施（児童対象） ・親子酪農体験の実施（児童・保護者対象）	農林水産課
29年度計画	①年２回実施予定 （夏季・冬季に小学校５・６年生各回50人対象に実施予定） ②年１回実施予定 （小学生とその保護者、計50人対象に実施予定）		
実績と評価	①農業体験 平成29年7月１日開催　参加人数　45人 ／ 平成30年１月20日開催　参加人数　36人 ②親子酪農体験 平成29年6月3日　　開催　　参加人数　10組23人 ・農業者、酪農事業者との交流を通じて、横須賀の農業や酪農に対する理解を深めることができ、地産地消の促進を図ることができた。		

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

取り組みの分野:栄養と食生活

(1)ライフステージにあわせた適正体重を維持するための取り組み

(1)-1) (1)-2) (1)-3) (1)-4)	栄養や運動に関する知識の普及啓発、各種講座の実施（●■） バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、３食食べることの知識の普及啓発（●■） 食事バランスガイドなどの活用方法の普及（●■） 各種講座の実施（●■）		
番号	事業名	事業内容	担当課

① ⑤ ⑩ ⑭	健康診断 食育活動 調理員講習会	・内科健診の実施 ・食事のおたよりの配布や食育パフォーマンスの実施 ・保育園調理員を対象とした調理講習会の実施	保育運営課
29年度計画	28年度と同様 ・内科健診の実施 ・食事のおたよりの配布や食育パフォーマンスの実施 ・保育施設調理員を対象とした調理講習会の実施		
実績と評価	・内科健診の実施　0～2歳児　全園毎月実施　3～5歳児は、年3回実施 ・食事のおたよりの配布　認可、認可外保育施設67施設へ毎月送付 ・園児を対象とした食育パフォーマンスの実施　10園 ・保育施設調理員を対象とした調理講習会の実施		

(1)-1) (1)-2) (1)-3) (1)-4)	栄養や運動に関する知識の普及啓発、各種講座の実施（●■） バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、3食食べることの知識の普及啓発（●■） 食事バランスガイドなどの活用方法の普及（●■） 各種講座の実施（●■）		
番号	事業名	事業内容	担当課
② ⑥ ⑪ ⑮	周産期支援事業 母子健康教育指導事業 訪問指導 母子健康診査事業	・妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問、教室の実施 ・地域からの依頼による健康教育の実施	こども健康課
29年度計画	・平成28年度と同様に、各種事業においてバランスよく3食食べるの知識の普及を行う。		
実績と評価	・乳幼児健診、プレママプレパパのための栄養教室、離乳食や幼児食教室、育児相談などで、パンフレット等を活用しバランスよく3食食べることの知識の普及を行った。また、地域からの依頼による健康教育を11回実施した。		

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

(1)-1) (1)-2) (1)-3) (1)-4)	栄養や運動に関する知識の普及啓発、各種講座の実施（●■） バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、3食食べることの知識の普及啓発（●■） 食事バランスガイドなどの活用方法の普及（●■） 各種講座の実施（●■）		
番号	事業名	事業内容	担当課
③ ⑧ ⑫ ⑯	健康づくり推進事業 健康食生活推進事業 健康教育事業	・各種健康教室の実施 ・食育推進教室の実施 ・地域や職域からの依頼による健康教育の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施	保健所 健康づくり課

29年度計画	・バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）食べることに重点をおいた各種健康教室の実施 ・食育推進教室（元気アップサンデー）の実施 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページなどを利用した普及啓発 ・地域や職域からの依頼による健康教育の実施
実績	・バランスよく食べることや生活習慣病予防に重点をおいた各種健康教室を実施した。今年度参加者が減少したため、次年度は内容を検討したい。（4回　57名） ・食育推進教室（元気アップサンデー）を実施した。人気のある教室のため毎年実施している。（1回　18名） ・バランスよく食べることや生活習慣病予防を目的としたヘルスメイトよこすかによる委託事業の実施（7回　86人）。 ・地域、職域からの依頼による健康教育を実施した。参加人数については前年度とほぼ同様であった。

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

(1)-1) (1)-2) (1)-3) (1)-4)	栄養や運動に関する知識の普及啓発、各種講座の実施（●■） バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、３食食べることの知識の普及啓発（●■） 食事バランスガイドなどの活用方法の普及（●■） 各種講座の実施（●■）		
番号	事業名	事業内容	担当課
④ ⑨ ⑬ ⑰	介護予防普及啓発事業 基礎身体能力向上事業 高齢者訪問指導事業 機能訓練事業 地域介護予防活動支援事業	・介護予防に関する知識の普及のための訪問、教室の実施 ・心身機能の維持を目的とした教室の実施 ・地域からの依頼による介護予防に関する講座の実施 ・地域包括支援センターによる介護予防に関する講座の実施	高齢福祉課

29年度計画	(普及）男性料理教室　１日コース×８会場　定員１５人 １日コース×４会場　定員２０人 (普及）のみこみらくらく教室（栄養・歯科）　３日コース×３会場　　定員１５人 (普及）シニアのための栄養講座　１日コース×6会場　定員20人 (普及）シニアのための栄養講座（実践編）1日コース×3会場　定員20人 (普及）生涯現役講座（コミュニティーセンターと連携）1回×９コミセン (普及）小食の方のための栄養教室　２日コース×３会場　　定員２０人 (普及）プラチナカレッジ（複合）2日コース×4コース　定員30人 (訪問）短期集中型訪問サービス　15人 (地域）ふれあい地域健康教室　　35回
実績と評価	(普及）男性料理教室　12回　180人 (普及）のみこみらくらく教室（栄養・歯科）　9回　45人 (普及）シニアのための栄養講座　6回　97人 (普及）シニアのための栄養講座（実践編）3回　40人 (普及）生涯現役講座（コミュニティーセンターと連携）9回　243人 (普及）小食の方のための栄養教室　3回　15人 (普及）プラチナカレッジ（複合）　8回　97人 (訪問）短期集中型訪問サービス　1件　13回 (地域）ふれあい地域健康教室　39回　1,095人 ＊申込み人数の少ない教室については見直しを行ったが、地域依頼によるふれあい地域健康教室では、計画を上回る実施回数となった。

(1)-2)	バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、３食食べることの知識の普及啓発（●■）		
番号	事業名	事業内容	担当課
⑦	学校保健関係指導	・夏季研修講座「食育」、食指導研修 ・給食だより等による意識啓発	**保健体育課**
29年度計画	・引き続き食育研修を、夏季研修講座に位置付け、継続して基準献立予定表、給食だより、食育だより等の発行を行っていく。 ・統一献立における地場産物の使用割合を13.2%以上を目指していく。 ・食育の推進体制づくりを支援するため、市立学校食育担当者会議を開催する。 ・給食時間の準備から後片付けまでの活動を通して、担任が計画的・継続的な指導を行うことにより児童に望ましい食習慣と食に関する実践力を身に付けさせるために、「給食時間マニュアル」を市内全小学校で実施する。		
実績と評価	・福岡市立舞鶴中学校　稲益義宏　教諭を講師として招聘し、夏季研修講座（食育）を実施した。（平成29年８月７日　13：30～16：00） ・統一献立における地場産物の使用割合13.2%を超える15.4%の実績結果を得ることができた。 ・市立学校食育担当者会議を２回開催した。（5/17と２/23に実施） ・「給食時間マニュアル」に基づいた給食指導を市内小学校全校で実施し、各学校において学校給食を「生きた教材」として活用できるよう取組を進めた。		

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

取り組みの分野:身体活動・運動

(1)ライフステージにあわせた日常生活(生活活動)の中で、身体活動を増やす取り組み

(2)ライフステージにあわせた体力の維持、向上を目的として計画的、意図的に実施する運動を増やす取り組み

(1)-1) (2)-1) (2)-2) (2)-3)	生活活動（労働、家事、通勤、通学など）を活用した身体活動量の増加の取り組み（●） ラジオ体操、ウォーキングなどの普及（●） 健康増進センター、運動施設（体育会館・プール）等の活用（●） 運動の各種教室等の実施（●）		
番号	事業名	事業内容	担当課

① ③ ⑤ ⑦	健康づくり推進事業 健康教育事業	・各種健康教室の実施 ・健康増進センターと連携した健康教室の実施 ・地域や職域からの依頼による健康教育の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施	**保健所** **健康づくり課**
29年度計画	・ウオーキングの普及を図るために、「ウオーキングのすすめ」のチラシを作成し各イベントや教室参加者へ配布する。講演会2回、イベント2回は継続開催予定。 ・FMブルー湘南ラジオ放送局の協力を得て平日1日2回（7:55分からと12:55分から）ラジオ体操第一の曲を放送してもらう（4月3日から放送中） ・地域イベント型ラジオ体操講座を年8回（うち4回は地域からの依頼により講師を派遣し継続を支援する）観光イベント型ラジオ体操講座は年2回を継続実施する。		
実績と評価	・ウオーキングの普及を図るために、ウオーキングサインを活用したリーフレット「ウオーキングのすすめ」を作成し各イベントや教室参加者へ配布した。 ・ウオーキングは「ロコモ予防」講座と「インターバル速歩」講演会や「ノルディックウオーキング」体験会をイベントで開催した（それぞれ参加者103人、110人、22人）。 ・坂本・馬堀・かもめ団地・浦賀・長浦・岩戸・武の7か所で、地域イベント型ラジオ体操講座を開催し、参加者は合計1,570人であった。 ・カレーフェスティバル、産業まつりでは、観光イベント型ラジオ体操講座を開催し、それぞれ300人、250人の参加者があった。		

※　●：健康増進計画　　■：食育推進計画

(2)-1) (2)-2) (2)-3)	ラジオ体操、ウォーキングなどの普及（●） 健康増進センター、運動施設（体育会館・プール）等の活用（●） 運動の各種教室等の実施（●）		
番号	事業名	事業内容	担当課
② ④ ⑥	市民レクリエーション事業 学校体育施設開放奨励事業 体育会館管理委託、営繕工事 市民スポーツ教室事業	・夏休みを利用したラジオ体操の会の実施 ・ラジオ体操講習会の実施 ・学校体育館施設の地域住民等への開放の実施 ・体育会館等の適正な維持管理、修繕 ・幼児から高齢者へスポーツの機会を提供するためのスポーツ教室の開催	**スポーツ振興課**

29年度計画	＜夏休みを利用したラジオ体操の会の実施＞ ・ラジオ体操カード・精勤賞状を配布し、ラジオ体操の会実施のサポートを継続して行う。 ＜ラジオ体操講習会の実施＞ ・県立保健福祉大学と共催で6月と１０月に講習会を実施予定。 ＜学校体育館施設の地域住民等への開放の実施＞ ・市内の全小中学校において、地域住民への開放を行う。 ＜体育会館等の適正な維持管理、修繕＞ ・3施設において大規模な営繕工事を予定している。 ＜幼児から高齢者へスポーツの機会を提供するためのスポーツ教室の開催＞ ・18教室50コースを実施予定。
実績と評価	＜夏休みを利用したラジオ体操の会の実施＞ ・ラジオ体操カード・精勤賞状を配布し、ラジオ体操の会実施のサポートを行った。 ＜ラジオ体操講習会の実施＞ ・県立保健福祉大学と共催で6月と１０月に講習会を実施した。 ＜学校体育館施設の地域住民等への開放の実施＞ ・市内の全小中学校において、地域住民への開放を行った。 ＜体育会館等の適正な維持管理、修繕＞ ・3施設において大規模な営繕工事を予定通り実施した。 ＜幼児から高齢者へスポーツの機会を提供するためのスポーツ教室の開催＞ ・18教室50コースを予定通り実施した。

※ ●:健康増進計画　■:食育推進計画

⑵-3)	運動の各種教室等の実施（●）		
番号	事業名	事業内容	担当課
⑧	介護予防普及啓発事業 地域介護予防活動支援事業 機能訓練事業 基礎身体能力向上事業	・介護予防に関する知識の普及と運動習慣の増進を目的とした教室の実施 ・地域包括支援センターによる介護予防に関する講座の実施 ・心身機能の維持を目的とした教室の実施	高齢福祉課

29年度計画	（普及）生涯現役フォーラム　　1回　500人 （普及）生涯現役講座（コミュニティセンターと連携）　９コミセン×１回 （普及）高齢者体力づくり教室　3コース×4回　　定員35人 （普及）関節らくらく教室　14コース×4回　定員35人 （普及）骨密度アップ教室　4コース×6回　定員40人 （普及）複合型介護予防教室　4コース×2回　定員30人 （地域）地域型介護予防教室　290回 ※（機能）機能訓練、（普及）いきいき健康体操教室は28年度で終了
実績と評価	（普及）生涯現役フォーラム　　1回　　1,262人（来場者合計数） （普及）生涯現役講座（コミュニティセンターと連携）　９回　261人 （普及）高齢者体力づくり教室　12回　　348人 （普及）関節らくらく教室　　56回　　1,346人 （普及）骨密度アップ教室　　24回　　708人 （普及）複合型介護予防教室　　8回　　97人 （地域）地域型介護予防教室　255回　　4,977人 ＊高齢者体力づくり教室、関節らくらく教室、骨密度アップ教室は、毎回定員を上回り抽選となっている。しかし、一般的な体力づくりを行う高齢者体力づくり教室は、平成29年度で終了とし、関節や骨密度など疾患に特化した教室に集約した。

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

取り組みの分野:休養・こころの健康

(1)-1) (1)-2) (2)-1) (2)-2) (2)-3)	睡眠と生活習慣病は関連があるという知識の普及啓発（●） 生活リズムを整えることの重要性についての啓発（●） 相談窓口等の情報提供（●） 各種講座・講演等の実施（●） サポート体制の充実（ゲートキーパーの育成等）（●）		
番号	事業名	事業内容	担当課

① ② ③ ⑤ ⑥	健康教育事業 精神保健対策事業	・生活習慣病と睡眠に関する健康教室の実施 ・地域、職域からの依頼による健康教育の実施 ・休養に関する健康教室の実施 ・相談することの大切さについての啓発 ・相談機関を掲載した冊子の配布 ・ホームページ上に相談機関の掲載 ・講演会・研修会及び地域からの依頼による教室の実施 ・生きる支援連絡会の実施	保健所 健康づくり課
29年度計画	・自殺予防街頭キャンペーン（9月、3月）の実施 ・相談窓口紹介冊子「横須賀こころのホットライン」の配布。 ・ゲートキーパー養成研修及びフォローアップ研修会の開催。		
実績と評価	・自殺予防街頭キャンペーンを9月と3月に2日4回を実施し、広く市民に向け啓発を行った。 ・相談窓口紹介冊子「横須賀こころのホットライン」を14,778冊配布し、相談窓口の周知を図った。 ・ゲートキーパー養成研修及びフォローアップ研修会を16回実施し、延762人の人材育成を図った。 ・平成29年の人口動態統計における自殺者数の暫定値は70人と平成28年の自殺者数68人を上回ってしまった。 ・自殺対策計画策等、さらに自殺対策を積極的に推し進め自殺で尊い命を失うことを防いでいきたい。		

(2)-1)	相談窓口等の情報提供（●）		
番号	事業名	事業内容	担当課
④	(1)訪問型介護予防事業 (2)認知症高齢者相談事業 (3)高齢者・介護者のためのこころの相談	(1)二次介護予防対象者で、うつ傾向のある人への電話や訪問による支援 (2)認知症に関して不安のある者及びその家族等に対しての支援 (3)介護者の心の悩みを聞き、介護者が虐待に至ることを予防する。	高齢福祉課
29年度計画	（1）総合事業「短期集中サービスC」　年間15件 （2）専門医によるもの忘れ相談、認知症初期集中支援チーム、認知症高齢者介護者の集い 若年性認知症のつどい （3）高齢者・介護者のためのこころの相談		
実績と評価	（1）総合事業「短期集中サービスC」　1件　13回 （2）専門医によるもの忘れ相談　23回　52人 認知症初期集中支援チーム　30件 認知症高齢者介護者の集い　18回　58人 若年性認知症のつどい　6回　191人 （3）高齢者・介護者のためのこころの相談　33回　50人 ＊平成30年度からは認知症に関する内容ではなく、うつ予防教室に関する内容に変更する。		

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

取り組みの分野:喫煙

1） 3） 4）	たばこをやめたい人及びその家族への支援（●） ＣＯＰＤ（慢性閉塞性肺疾患）の知識の普及（●） 喫煙、受動喫煙の害についての知識の普及（●）

番号	事業名	事業内容	担当課
① ④ ⑤	健康教育事業	・各種健康教室の実施 ・地域、職域等へのチラシやポスターの配布	保健所 健康づくり課

29年度計画	引き続き「スパッと卒煙教室」を年６回実施予定。 ポスター・チラシの配布や県立高校への喫煙防止教育も引き続き行う。 また、５月29日～６月２日まで、パネル展示を実施予定。 健康フェアでの普及啓発も実施予定。
実績と評価	・禁煙支援の教室である「スパッと卒煙」を年6回開催し、参加者は延べ21人。 ・2月に市関係機関、医師会、薬剤師会に次年度のポスター・チラシを配布した。 ・県からの依頼で県立高校3校に対し、喫煙防止教育を行った（参加者　追浜高校定時制11人、横須賀工業高校245人、大楠高校88人）。 ・5月29日～6月２日まで、市役所本庁舎１階で、喫煙・受動喫煙の害について啓発する展示を行った。 ・５月31日の世界禁煙デーの啓発庁内放送を行った。 ・９月２日、３日にイオン横須賀店で開催した「健康フェア」で、一酸化炭素濃度（呼気）測定を行うなどし、喫煙・受動喫煙の害について普及・啓発を行った（参加１７０人）。

2）	未成年者に対する喫煙防止の取り組み（●）		
番号	事業名	事業内容	担当課
②	青少年相談事業	・巡回指導の実施 ・非行防止講座の開催 ・青少年健全育成協力店の登録	**こども青少年支援課**
29年度計画	・巡回指導は、指導・助言にかかわらず、積極的に若者に声を掛けていくこととする。 ・非行防止講座の実施。 ・引く続き協力店の開拓を行い、店に対して事業の意義を伝え理解を求めたい。		
実績と評価	・巡回指導は、青少年に対する指導や声かけ等を611件行い、指導内容としては、高校生の喫煙や中・高校生の遊技場出入に対する声掛け等が多かった。巡回場所についても、繁華街だけでなく、児童・生徒ブロック別情報交換会等でえた地区の情報も踏まえながら、公用車による巡回も行った。。 ・非行防止講座として、青少年育成推進員の会議に参加し巡回指導員の日々の活動や青少年との関わり方について話をした。 ・青少年健全育成協力店は、新規登録が16店舗あった。閉店してしまった店舗があったため、平成29年度末現在369店舗となった。		

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画

2）	未成年者に対する喫煙防止の取り組み（●）		
番号	事業名	事業内容	担当課
③	学校保健関係指導	・学習指導要領解説に基づく学習指導	**保健体育課**
29年度計画	・引き続き、喫煙や飲酒、薬物乱用防止に関して、更なる指導の充実を図っていく。 ・学習指導要領に基づく学習指導を行う。 ・小学6年の「病気の予防」、中学３年の「健康な生活と疾病の予防」の中で、喫煙、飲酒、薬物乱用などは健康を損なう原因となること等について、児童生徒の理解を深める。		

実績と評価	・各学校における保健学習（体育科・保健体育科）のなかで、学習指導要領に基づいた喫煙や飲酒、薬物乱用防止についての正しい知識とそれによる正しい判断の大切さを学んだ。 ・小学校における薬物乱用防止教室を実施（発展学習）した。（薬物乱用防止キャラバンカーの派遣を含め：市内18小学校にて実施） ・中学校における薬物乱用防止教室を実施（発展学習）した。（外部講師等による薬物乱用防止に係る講演会：市内20中学校にて実施）

4）	喫煙、受動喫煙の害についての知識の普及（●）		
番号	事業名	事業内容	担当課
⑤	周産期支援事業 こんにちは赤ちゃん事業	・母子手帳交付時の保健指導 ・妊娠期から子育て期の各種教室の実施 ・生後４ヶ月までの乳児およびその保護者の全戸訪問の実施	こども健康課
29年度計画	引き続き、母子健康手帳交付時、周産期の各種教室、こんにちは赤ちゃん訪問等の機会に、喫煙、受動喫煙の害についての知識の普及に努める。		
実績と評価	母子健康手帳交付時面接、こんにちは赤ちゃん訪問時、プレママプレパパ教室３２回（平日14回、土日16回、夜2回）での喫煙、受動喫煙の害についての啓発、卒煙教室の案内を実施した。		

※ ●:健康増進計画　■:食育推進計画

取り組みの分野:飲酒

1）	身体に負担をかけない飲み方の普及啓発（●）		
番号	事業名	事業内容	担当課
①	健康教育事業	・地域職域等へのチラシやポスターの配布 ・健康教室の実施	保健所 健康づくり課

29年度計画	引き続き継続する。 ・健康教育事業の実施 ・健康相談事業の実施 ・健康相談・教室一覧表の作成と配布 ・庁内ガルーン掲示板への健康まめ知識の掲載 ・ホームページを活用した健康情報の発信
実績と評価	・引き続き適正な飲酒量や、適正飲酒の10か条をホームページで掲載した。

2）	未成年者に対する飲酒防止の取り組み（●）		
番号	事業名	事業内容	担当課
②	青少年相談事業	・巡回指導の実施 ・非行防止講座の開催 ・青少年健全育成協力店の登録	**こども青少年支援課**
29年度計画	・巡回指導は、指導・助言にかかわらず、積極的に若者に声を掛けていくこととする。 ・非行防止講座の実施。 ・引く続き協力店の開拓を行い、店に対して事業の意義を伝え理解を求めたい。		
実績と評価	・巡回指導は、青少年に対する指導や声かけ等を611件行い、指導内容としては、高校生の喫煙や中・高校生の遊技場出入に対する声掛け等が多かった。巡回場所についても、繁華街だけでなく、児童・生徒ブロック別情報交換会等でえた地区の情報も踏まえながら、公用車による巡回も行った。。 ・非行防止講座として、青少年育成推進員の会議に参加し巡回指導員の日々の活動や青少年との関わり方について話をした。 ・青少年健全育成協力店は、新規登録が16店舗あった。閉店してしまった店舗があったため、平成29年度末現在369店舗となった。		

※ ●:健康増進計画　■:食育推進計画

2）	未成年者に対する飲酒防止の取り組み（●）		
番号	事業名	事業内容	担当課
③	学校保健関係指導	・学習指導要領解説に基づく学習指導	**保健体育課**

29年度計画	・引き続き、喫煙や飲酒、薬物乱用防止に関して、更なる指導の充実を図っていく。 ・学習指導要領に基づく学習指導を行う。 ・小学6年の「病気の予防」、中学３年の「健康な生活と疾病の予防」の中で、喫煙、飲酒、薬物乱用などは健康を損なう原因となること等について、児童生徒の理解を深める。
実績と評価	・各学校における保健学習（体育科・保健体育科）のなかで、学習指導要領に基づいた喫煙や飲酒、薬物乱用防止についての正しい知識とそれによる正しい判断の大切さを学んだ。 ・小学校における薬物乱用防止教室を実施（発展学習）した。（薬物乱用防止キャラバンカーの派遣を含め：市内18小学校にて実施） ・中学校における薬物乱用防止教室を実施（発展学習）した。（外部講師等による薬物乱用防止に係る講演会：市内20中学校にて実施）

3）	妊娠、授乳期の飲酒をなくす取り組み（●）		
番号	事業名	事業内容	担当課
④	周産期支援事業	・母子健康手帳交付時の保健指導 ・妊娠期から子育て期の各種教室の実施	こども健康課
29年度計画	平成28年度と同様、妊婦さんのための栄養教室（プレママ･プレパパのための栄養教室）や、妊婦さんのための料理教室（楽しいマタニティクッキング）の中で啓発を行う。		
実績と評価	母子手帳交付時面接やプレママプレパパ教室の中で、飲酒が胎児、母体、母乳等に及ぼす影響について説明し啓発を行った。		

※ ●:健康増進計画　■:食育推進計画

取り組みの分野:歯・口腔の健康

1）	歯科健診受診者を増やす取り組み（●）
2）	歯科疾患が全身疾患に関連することの周知（●）
3）	各自の歯の状態にあったブラッシングの普及啓発（●）
4）	咀嚼の大切さの啓発（●■）
5）	３歳でう蝕のない児を増やす取り組み（●）

番号	事業名	事業内容	担当課
① ② ④ ⑤ ⑥	歯科保健事業	・１歳６カ月児、３歳児健康診査時や学校歯科巡回教室、地域等からの依頼による健康づくり教室の際、保護者等への歯科健診受診についての普及啓発 ・成人健康教室の実施 ・学校歯科巡回教室の実施 ・妊娠期に実施する教室 ・歯科健康診査の実施 ・各種相談会等相談事業の実施 ・ライフステージにあわせた歯科指導・各種健康教室の実施 ・１歳６カ月児、２歳６カ月児の歯科健康診査	**保健所** **健康づくり課**

29年度計画	・引き続き、各事業を実施。 ・生涯にわたって自分の歯でおいしく食べられるよう、ライフステージに応じたフッ化物の利用を推奨する 1)歯周病検診（成人歯科健康診査）をきっかけとして定期的に歯科健診を受ける人を増やす 2)ライフステージにあわせた健康教室や歯周病検診で歯科疾患が全身疾患に関連することを積極的に周知する。
実績と評価	・市立保育園４・５歳児に対して集団フッ化物洗口を継続実施した。（341人、98%の実施率） ・私立保育園・幼稚園へ集団フッ化物洗口実施について啓発し、新たに取り組んだ園が２園あった。普及啓発イベントで市民にフッ化物洗口等を紹介した（２回、377人） 1)節目年齢（２０・３０・４０・５０・６０・７０歳）の市民へ歯周病検診案内を送付し、歯科健診を受けるきっかけづくりをした。（4,822人） 2)ライフステージにあわせた健康教室や保健所健診センターで実施した歯周病検診で、歯科疾患が全身疾患に関連することを積極的に啓発した。 （成人・高齢者健康教室1,387人、健診センター 歯周病検診受診者1,110人）

2）	歯科疾患が全身疾患に関連することの周知（●）		
番号	事業名	事業内容	担当課
③	基礎身体能力向上事業 介護予防普及啓発事業	・介護予防に関する知識の普及と教室の実施	**高齢福祉課**

29年度計画	（普及）のみこみらくらく教室（歯科担当分）　３コース×１日　定員１５人 （普及）口腔機能キャンペーン 500人 （普及）生涯現役講座（コミュニティセンターと連携）９コミセン×1回
実績と評価	（普及）のみこみらくらく教室（歯科担当分）　３日　16人 （普及）口腔機能キャンペーン 232人 （普及）生涯現役講座（コミュニティセンターと連携）9日　252人 ＊のみこみらくらく教室の内容はとても充実したものであるが、申し込み人数が少なかった。平成30年度は教室名にキャッチコピーを付け、集客につなげたい。

※　●:健康増進計画　　■:食育推進計画